

## 平成31年度入学式 式 辞

穏やかな春の陽気に包まれ、すべてのものが躍動の気に満ちたまさに春たけなわの今日のよき日、大阪府教育庁ご代表、本校PTA会長、そして後援会及び本校同窓会 藤蔭会の関係の皆様をはじめとする来賓の皆様、そして多くの保護者の皆様方のご列席のもと、平成31年度大阪府立春日丘高等学校第74回入学式を挙行できますことは、この上ない喜びであります。高いところからではありますが、厚く御礼を申し上げます。ありがとうございます。

保護者の皆様方におかれましては、大阪府下でも最も厳しい入学者選抜の難関を乗り越えて大きく成長されたお子様の姿が頼もしく感じられているのではないのでしょうか。まことにおめでとうございます。3年後に、「春高に通わせて良かった」と言っていただけのように我々教職員一同、全力でお子様の成長のためにより充実した教育環境の構築に尽力していくことをお約束いたします。

ただ今入学を許可しました320名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。教職員一同、皆さんの入学を心より歓迎いたします。

本校は、1911年の創立以来、社会的責任の自覚の下で、「自主・自律」と「自由」の精神を発揮することの大切さを継承した教育活動を展開して、百年を超える歴史を刻んでまいりました。

皆さんは、この歴史ある春日丘高校の新入生として、今まさに新たな一歩を踏み出そうとしているのです。今まで支えてくださった方々への感謝の気持ちを忘れることなく、夢と希望の実現に向け、勉強や部活動そして学校行事に積極的に取り組み、楽しく充実した感動ある高校生活を送って下さい。皆さんの一歩一歩が春日丘高校の新しい歴史となっていくのです。

先日、日本プロ野球と大リーグで通算28年間、プレーをしたシアトル・マリナーズのイチロー選手が現役引退を表明しました。一時間以上に及んだ引退会見では「超一流」の言葉が光っていました。大リーグ最多記録のシーズン262安打、10年連続の200安打等、数々の記録を打ち立てたのですが、それらを「小さいことに過ぎない」と言い切っていました。その言葉通り、どんな栄冠を得ようとも、決して現状に満足することはなかったのです。一方で、試合から出られなくなった昨年の5月以降から、引退試合まで地道な鍛錬について、「ささやかな誇りを生んだ日々」であり、引退の舞台に立てた「瞬間」が、28年間で最も印象深いと語っていました。一日一日、一試合一試合に、執念を燃やした野球人の信念がにじみ出ていました。

何事も「あの時は良かった」と過去の栄光や成功パターンを振り返ってばかりでは、成長はないのです。常に、「今の自分はどうか」「どうあるべきか」「何のため」を問い続け、地道な挑戦を重ねることで、新たな勝利の道が開かれるのです。もっとも手強い壁は、実は自分自身の心の中にあるのです。新入生の

皆さんには、「難しい」「苦手だ」「できない」そうした自身の壁に対して勇気を持って向き合い、日々新たな決意で、新しい自分へと成長していただけることを期待して私の式辞とします。

平成31年4月4日

大阪府立春日丘高等学校

校長 福留 明富